

令和3年度
酒蔵ツーリズムセミナー
報告書

令和4年3月
日本酒蔵ツーリズム推進協議会

はじめに

全国各地域には、豊富で多様な観光資源が多数存在しており、各地域において、これらの観光資源を活用した取り組みがなされている。こうした地域資源を発掘し、磨き上げるとともに、国内外から選ばれる国際競争力の高い、魅力ある観光地域づくりを促進するために、地域のブランディングが重要であり、その実現のためには、地域の観光資源の発掘、開発、マーケティングが必要であると考えられるため、当協会では平成30年度よりテーマ別観光による地方誘客を目指し、「酒蔵ツーリズム」の推進事業に取り組んでいる。

酒蔵ツーリズムの推進に取り組むにあたり、各地の事例や酒の特色などを知り、情報交換・検討を行う場として、「酒蔵ツーリズムセミナー」を開催することとした。

今回は、『酒蔵ツーリズム』を通じて、「消費拡大、地域周遊・滞在を促す」をテーマに、株式会社ぐるなび、佐々木酒造株式会社の取り組み事例について学び、理解を深める機会とした。

1. 実施概要

開催日時：令和4年2月24日（木） 14時00分～16時00分

開催場所：オンライン（ZOOM）での開催

主催：日本酒蔵ツーリズム推進協議会（事務局：公益社団法人日本観光振興協会）

対象者：各地域の行政・観光協会・DMO関係者、民間観光事業者、酒蔵・酒造関係者
通訳案内士 等

参加費：無料

募集・告知：日本観光振興協会 ホームページ・会員向けメルマガ
日本酒蔵ツーリズム推進協議会ホームページ・Facebook・Twitterにて告知

実施テーマ：『酒蔵ツーリズム』を通じて消費拡大、地域周遊・滞在を促す」

配信会場：株式会社クリーク・アンド・リバー社 内会議室

【セミナープログラム】

14：00～14：05	「開会挨拶」 日本酒蔵ツーリズム推進協議会 会長 細野助博
14：05～14：10	「来賓挨拶」 国税庁酒税課輸出促進室 室長 宮葉敏之 様
14：15～14：35	講義①「ツーリズムを通じた海外市場開拓への取り組み」 日本酒蔵ツーリズム推進協議会 事務局長 杉野正弘
14：35～15：05	講義②「灘五郷 酒蔵ツーリズムの取り組み」 株式会社ぐるなび 理事 杉山尚美 様
15：05～15：15	休憩
15：15～15：45	「京都洛中酒蔵ツーリズムの取り組み」 佐々木酒造株式会社 佐々木晃 様
15：45～15：55	総括・質疑応答
15：55～16：00	「閉会挨拶」 日本酒蔵ツーリズム推進協議会 副会長 公益社団法人日本観光振興協会 理事長 久保田穰

2. 参加者

<参加者（オンライン）>

観光関連団体・企業、酒造関連団体・企業 等 計 307 名

<来賓（オンライン）>

国税庁 1 名

<主催者関係>

日本酒蔵ツーリズム推進協議会 4 名、日本観光振興協会 1 名

3. セミナープログラム概要

(1)「開会挨拶」

日本酒蔵ツーリズム推進協議会 会長 細野助博



(2)「来賓挨拶」


国税庁酒税課輸出促進室 室長 宮葉敏之 様



(3) 「ツーリズムを通じた海外市場開拓への取り組み」

日本酒蔵ツーリズム推進協議会 事務局長 杉野正弘

日本産酒類の現状と海外市場開拓に向けた調査結果を報告。



ツーリズムを通じた 海外市場開拓への取り組み

2022年2月24日（木）

日本酒蔵ツーリズム推進協議会
(事務局：公益社団法人 日本観光振興協会)

※酒蔵ツーリズムは佐賀県鹿島市の登録商標です。

(6) -1 ドイツ市場調査

- 期間：2021年12月1日（水）～2022年2月28日（月）
- 対象：日本食レストラン、日本酒インポーター、ドイツ旅行会社等

調査項目

1. 日本食レストラン等


①顧客の日本酒の認知度（選択肢）

- レベル1 店のメニューから価格の安いお酒を選ぶ
- レベル2 お酒の味（dry、sweet）など意識して選ぶ
- レベル3 食事に合うお酒を選ぶ、または質問する
- レベル4 銘柄を指定してくる（ある程度銘柄についての知識がある）

(4) 「灘五郷 酒蔵ツーリズムの取り組み」

株式会社ぐるなび 理事 杉山尚美 様

灘五郷における酒蔵ツーリズムの取り組みについて、講演。



日本酒蔵ツーリズム
Sake Brewery Tourism

講義②

灘五郷 酒蔵ツーリズムの取り組み

株式会社ぐるなび
杉山 尚美 様



(5) 「京都洛中酒蔵ツーリズムの取り組み」

佐々木酒造株式会社 佐々木晃 様

佐々木酒造株式会社における京都洛中酒蔵ツーリズムの取り組みについて、講演。

2022.2.24

日本酒蔵ツーリズム推進協議会「令和3年度 酒蔵ツーリズムセミナー」

「京都洛中 酒蔵ツーリズム」への取り組み

佐々木酒造株式会社
代表取締役 佐々木 晃

モデルコース

コース名	所要時間	特徴
堀川エリア	徒歩30分	地下鉄今出川駅
平土京・粟田町エリア	徒歩35分	「八幡」地下鉄二条駅
二条城エリア	徒歩30分	地下鉄丸太町駅

(6)「閉会挨拶」

公益社団法人日本観光振興協会 理事長

日本酒蔵ツーリズム推進協議会 副会長 久保田 穰



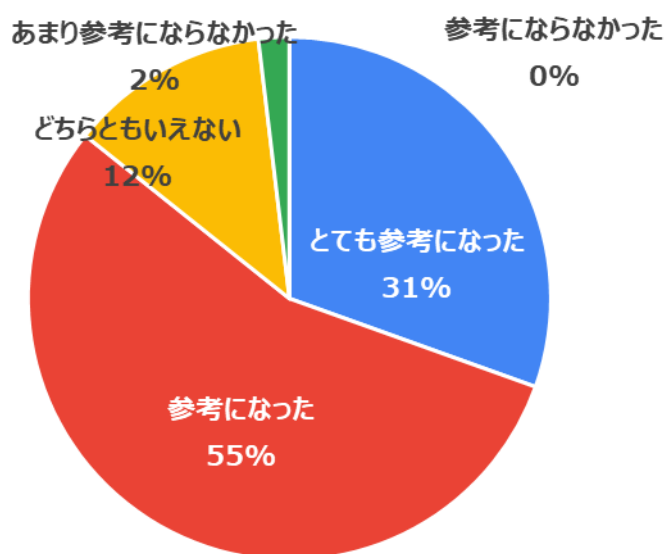
4. 参加者アンケート（令和4年2月28日現在）

参加者に対するアンケートを実施。

各質問項目に関する回答は下記のとおり。

(1) 「ツーリズムを通じた海外市場開拓への取り組み」（日本酒蔵ツーリズム推進協議会）について評価

「ツーリズムを通じた海外市場開拓への取り組み」
（日本酒蔵ツーリズム推進協議会）について

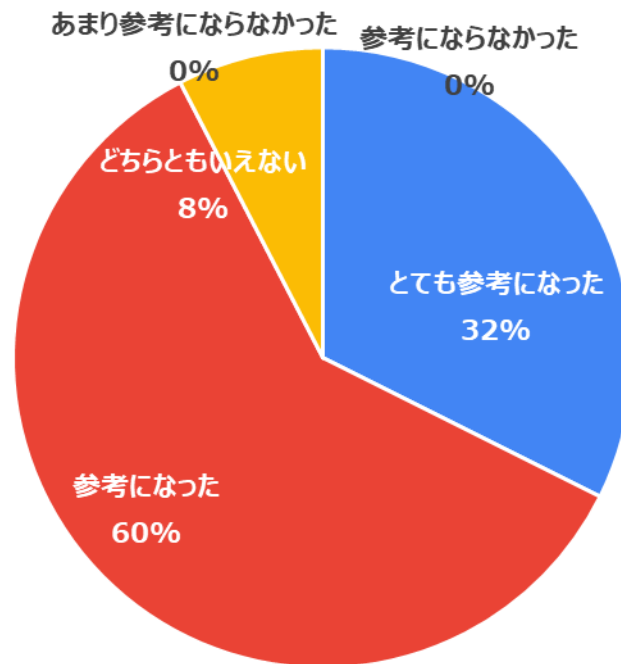


理由（一部抜粋）

- ・ ドイツへの販路開拓の話は初めて聞いた。
- ・ 海外の方の日本酒に対する認識がよく理解できた。
- ・ ドイツの事例が中心だったが、その他の事例やもう少し大きな枠組みでの話も聞きたかった。
- ・ 課題や仮説などその後どうなったのか知りたい。

(2) 「灘五郷 酒蔵ツーリズムの取り組みについて」(株式会社ぐるなび 杉山氏) についての評価

「灘五郷 酒蔵ツーリズムの取り組みについて」
(株式会社ぐるなび 杉山氏) について

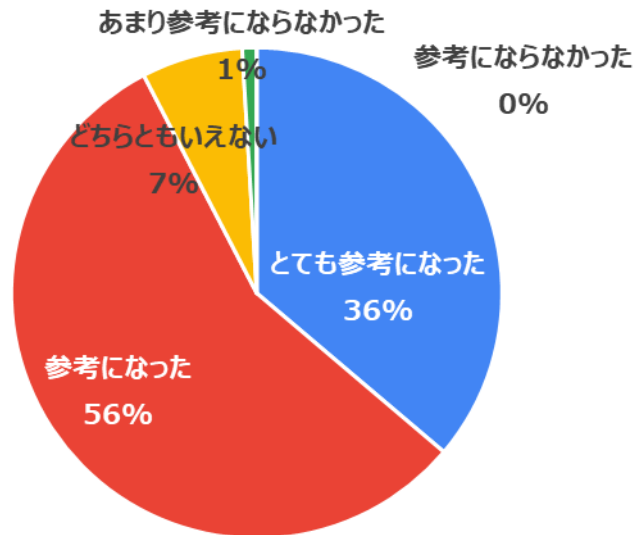


理由 (一部抜粋)

- ・ 具体的な取り組み、成果や課題がわかりやすく、酒蔵ツーリズムの可能性に興味を持った。
- ・ 地産地消の部分を感じた。
- ・ ツアー造成に向けた取り組みの過程が見れて参考になった。
- ・ 地域の酒蔵が差別化をしながら連携しているところが素晴らしいと思った。

(3) 「京都洛中酒蔵ツーリズムの取り組みについて」(佐々木酒造株式会社 佐々木氏) についての評価

「京都洛中酒蔵ツーリズムの取り組み」
(佐々木酒造株式会社 佐々木氏) について

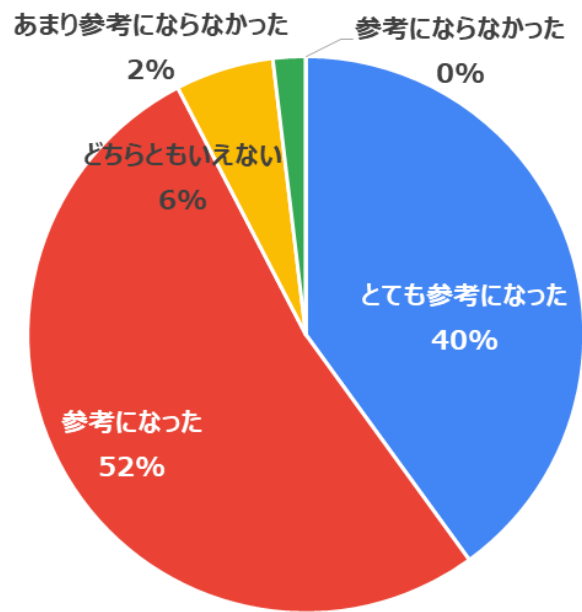


理由 (一部抜粋)

- ・ 高付加価値ツーリズムの一環で富裕層向け観光に最適だと思った。
- ・ その土地地域の特徴が実に感じた。
- ・ 酒造りのみにこだわるのではなく、地域の活性、異業種を巻き込んだツーリズムの発想が勉強になった。
- ・ 蔵元主体で設定した時の「酒蔵ツーリズム」の内容・価格について知ることができた。

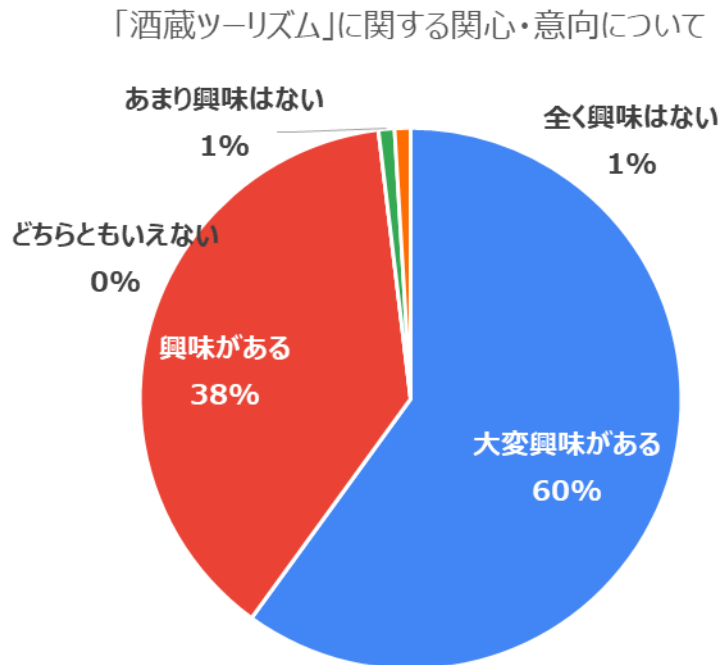
(4) 今回のセミナー（全体）についての評価

今回のオンラインセミナー（全体）について



(5) 「酒蔵ツーリズム」に関するご意向

① 「酒蔵ツーリズム」への関心

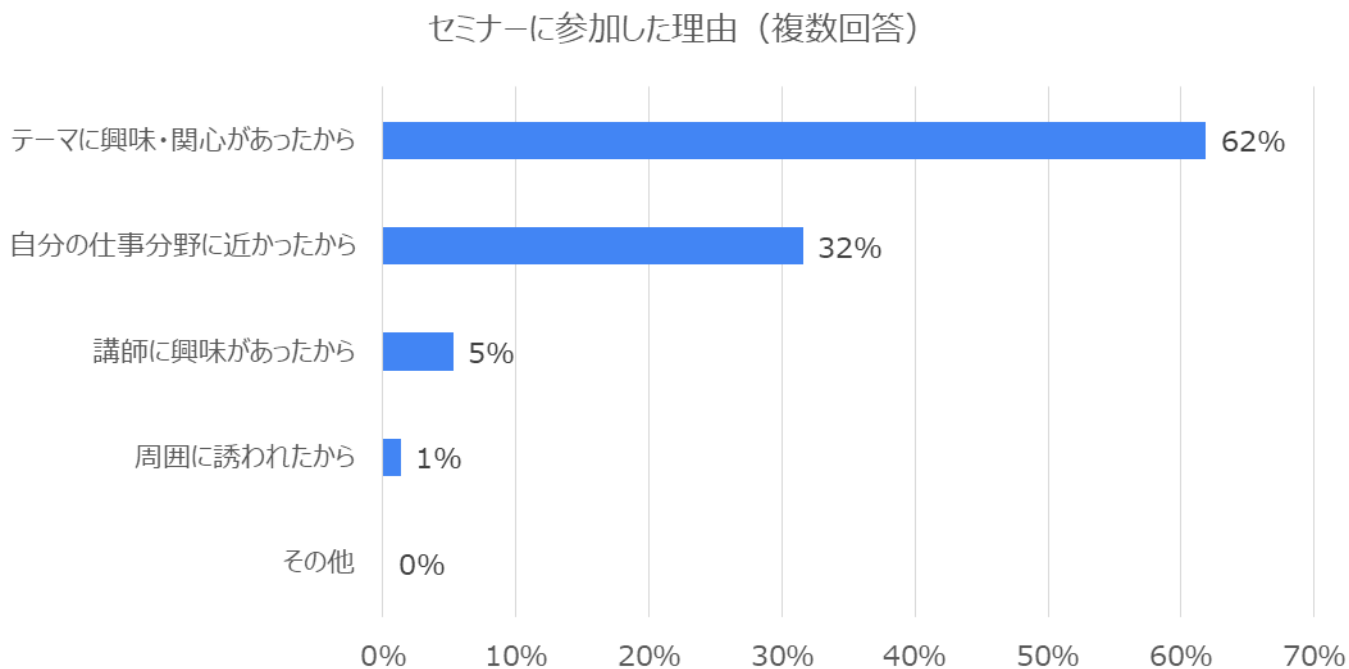


② 「酒蔵ツーリズム」に対するご意見・ご要望（一部抜粋）

- ・ 酒蔵と飲食や物販などをどのように結びつけていけばよいか、考える機会になった。
- ・ 日本の伝統を伝えるものであり、食と文化を織り交ぜることで、様々な魅力が発揮されると思い、酒蔵の存続のためにも持続可能な形で発展させていきたいと思った。
- ・ 酒蔵ツーリズムは高単価なコンテンツ造成、販売を持続的に運営することができるツーリズムであることを再認識できた。各地での成功事例、失敗事例を掘り起こして全国に共有してほしい。
- ・ 興味はあるが、行くには何かしらのきっかけが必要だと感じる。

(6) 「セミナー」に関するご意向

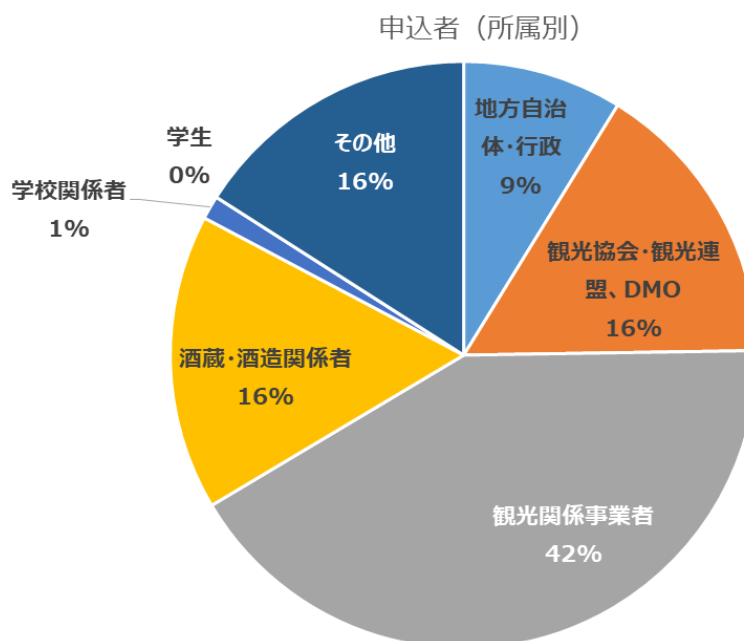
①今回セミナーの参加理由（複数回答）



②「日本酒蔵ツーリズム推進協議会」あるいは「日本観光振興協会」に対して、開催を希望するセミナーについて（一部抜粋）

- ・ 古民家再生と富裕層向けツアー
- ・ z世代の旅行に関する意識調査（国内および海外）
- ・ クラフトビールをテーマに取り上げてほしい
- ・ 外国人が望む酒蔵ガイドツアーとは

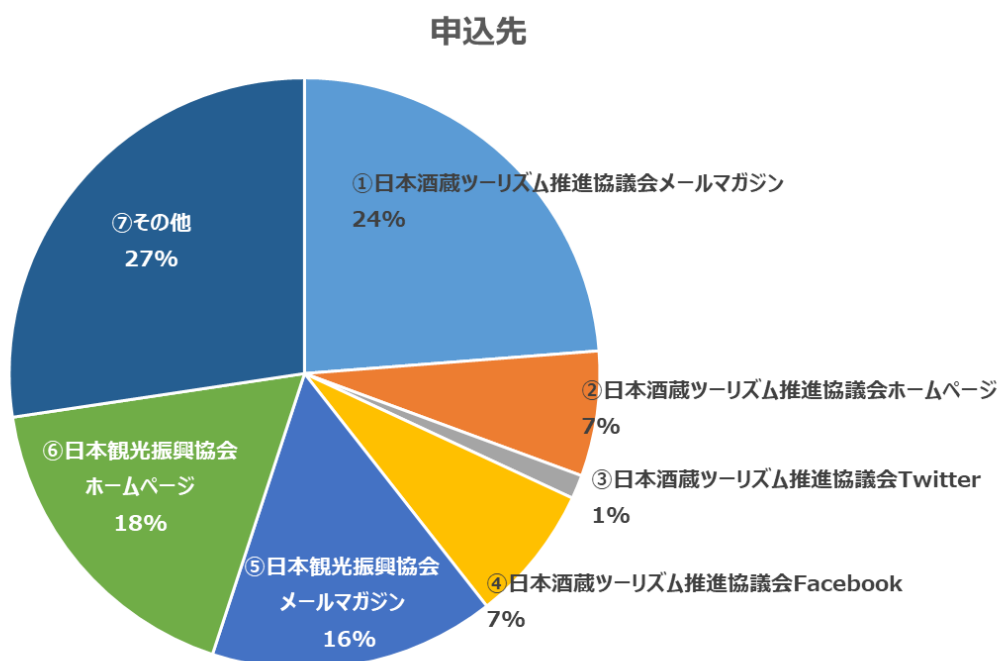
(7) 申込者（属性別）



【その他】（一部抜粋）

商工会、銀行、通訳案内士 等

(8) 申込先



【その他】

社内共有、観光経済新聞、2月9日開催セミナー時、日本酒造組合中央会からの案内等

5. 総評（まとめ）

今回のセミナーは、昨年に引き続きオンラインでの開催となった。全国各地から参加することができるため、セミナーには地方自治体・DMO、観光関係者、酒造関係者、通訳案内士等、これまで以上に多くの方に参加頂いた。

日本酒蔵ツーリズム推進協議会が実施した「ツーリズムを通じた海外市場開拓への取り組み」では、日本産酒類を取り巻く現状を学び、何故海外市場開拓が必要となるのか、海外輸出の可能性について学んだ。特に「ドイツ市場」における可能性を明らかにすることで、「酒蔵ツーリズム」のさらなる可能性を理解することができた。

株式会社ぐるなびの取り組み事例では、具体的な取り組み内容や、ツアー造成までの過程が明らかになり勉強になった、と高評価だった。今後「酒蔵ツーリズム」に関するツアー造成等を行いたいと考えている方々に対し、取り組むための課題や過程が明らかになり、参考となったのではないかと。

佐々木酒造株式会社の取り組み事例では、酒蔵単体ではなく地域内での連携が大切であると再認識できた、具体的な取り組みの内容や現状の課題を知ることができた、と高評価だった。また現在行っているツアープランや価格設定が明らかになり、今後の参考になったのではないかと。

アンケート結果から、酒蔵ツーリズムに取り組む事例を学ぶことができ、全体的に高評価を頂いた。「酒蔵ツーリズム」に対しても興味・関心が高く、受入側の整備も重要である。引き続き酒蔵ツーリズムの普及・啓発・推進活動に取り組んでいく。

今後のセミナー内容については、より具体的な取り組み・事例を取り上げていきたい。次年度以降も、このような情報共有の場としてのセミナー開催を継続・発展させていきたいと考える。

以 上